

初期設定シート〔財務情報登録〕

No.	分類	項目名	説明	設定値（製品出荷時）	変更	備考	フ ロ ク ス ト リ ン グ	N E X T	匠	推奨
1	基本情報									
2	自動採番	伝票No.	伝票No.の自動採番を設定します。	●自動採番する ○伝票No.は毎回入力する	可		○	○	○	自動採番
3		接頭辞	自動採番する場合、接頭辞を設定します。	○なし ○年度（接頭辞は4桁） ●年月（接頭辞は6桁）	可	伝票No.は10桁です。 接頭辞に「年度」を選択した場合、採番される桁数は4桁です。 接頭辞に「年月」を選択した場合、採番される桁数は6桁です。振替伝票の枚数が月9,999件を超える可能性がある場合、接頭辞は「年度」を設定してください。	○	○	○	年月
4	売上課税科目	消費税区分	〔科目登録〕の消費税区分、課税区分を一括更新する場合に利用します。	「外税」を設定	可	定数一覧表の消費税区分を参照	○	○	○	「外税」又は「課税売上（外税）」
5		課税区分	〔科目登録〕の消費税区分、課税区分を一括更新する場合に利用します。	10%を設定	可	課税区分は〔課税区分登録〕で設定します。	○	○	○	
6		端数処理区分	仮受消費税を計算するときの端数処理を設定します。	●四捨五入 ○切り上げ ○切り捨て	可		○	○	○	
7	仕入課税科目	消費税区分	〔科目登録〕の消費税区分、課税区分を一括更新する場合に利用します。	「外税」を設定	可	定数一覧表の消費税区分を参照	○	○	○	「外税」又は「課税売上仕入（外税）」
8		課税区分	〔科目登録〕の消費税区分、課税区分を一括更新する場合に利用します。	10%を設定	可	課税区分は〔課税区分登録〕で設定します。	○	○	○	
9		端数処理区分	仮払消費税を計算するときの端数処理を設定します。	●四捨五入 ○切り上げ ○切り捨て	可		○	○	○	
10	その他	消費税区分一括更新	「更新しない」を設定します。	○更新する ●更新しない	可	本項目は、〔科目登録〕の消費税区分、課税区分を一括更新するために利用します。導入段階では使用しません。	○	○	○	
11		代表工種コード	工種を利用する場合、〔共通原価按分〕で利用する代表工種コードを設定します。	() 工種コードを利用	可		○	○	○	
12		2006年5月1日施工会社法	2006年5月に施工された会社法（新会社法）を適用しない場合、設定します。 〔貸借対照表〕にて前期繰越利益剰余金や前期未処分履歴勘定を利用している場合、旧会社法「適用しない」を設定します。	●適用する ○適用しない	可	〔貸借対照表〕と〔損益計算書〕の出力方法が異なります。	○	○	○	適用する
13		決算振替仕訳	「作成する」を設定します。	●作成する ○作成しない	可	決算振替仕訳とは、当期利益を振り替える仕訳です。 収益 / 損益 損益 / 費用 損益 / 繰越利益剰余金	○	○	○	作成する

No.	分類	項目名	説明	設定値（製品出荷時）	変更	備考	フ ロ ン ト イ ム	N E X T	匠	推奨
14		伝票入力の完成工事未払金科目自動設定	伝票入力時、借方に設定する科目の制御を設定します。 「する」に設定した場合、完成済みの工事の請求書を入力した時、借方に完成工事未払金科目を自動設定します。 「しない」に設定した場合、完成済みの工事の請求書を入力した時でも、借方に未成工事支出金もしくは「V勘定科目を自動設定します。	●する ○しない	可	〔振替伝票入力〕〔支払伝票入力〕〔支払伝票入力（工事）〕〔出来高査定入力〕〔工事請求査定入力〕〔外部データ取込〕で制御されます。	○	○	○	する
15		未払計上方法	未払科目自動設定の工事完成の判定方法を設定します。 「指定しない」の場合、社内工期終了日以降の伝票（日付）で制御されます。 「年次」の場合、翌期以降の伝票（日付）で制御されます。 「月次」の場合、社内工期終了日の翌月以降の伝票（日付）で制御されます。 「四半期」の場合、社内工期終了日が含まれる翌四半期以降の伝票（日付）で制御されます。	●指定しない ○年次 ○月次 ○四半期	可	〔受注工事登録〕の完成区分「前期」の工事は、全て完成として制御されます。 〔未払計上〕および〔完成振替〕の計上タイミングと設定を合わせてください。	○	○	○	
16		消費税区分表示設定	利用する消費税区分を設定します。 設定した消費税区分のみが、各機能で選択可能になります。	対象外、外税、内税、非課税	可	定数一覧表の消費税区分を参照	○	○	○	
17		経過措置適用（進行基準）	消費税改正による経過措置の適用を設定します。 「する」の場合、進行基準工事の仮受消費税は、〔課税区分登録〕の基準日で判定した課税率で計上されます。 「しない」の場合、〔受注工事登録〕の課税区分の税率で計上されます。	●する ○しない	可	本機能を利用することで、例えば前回8%改定の場合、2014年3月31日迄は5%、2014年4月1日以降は8%で、進行基準工事の仮受消費税の税率を自動的に変更して計算することが可能になります。	○	○	○	する
18		税率改定時の施工日自動判定	「する」の場合、〔課税区分登録〕の基準日で判定した課税区分を自動展開します。	●する ○しない	可	例 「する」の場合、〔振替伝票入力〕では、〔科目登録〕の設定が5%でも、伝票日付が2014年4月1日以降であれば、8%に置き換えて自動展開されます。他の伝票入力でも同様に制御されます。	○	○	○	する
19		決算確定振替の部門階層	部門別に〔貸借対照表〕を出力する場合、設定します。決算確定振替仕訳を作成する部門単位を部門階層で設定します。	1階層	可	〔部門登録〕で設定している階層を指定します。	○	○	○	
20	科目設定	未成工事支出金	未成工事支出金の科目コードを設定します。	未成工事支出金_____	可		○	○	○	
21		未成工事受入金	未成工事受入金の科目コードを設定します。	未成工事受入金_____	可		○	○	○	
22		完成工事原価	完成工事原価の科目コードを設定します。	完成工事原価_____	可		○	○	○	
23		完成工事高	完成工事高の科目コードを設定します。	完成工事高_____	可		○	○	○	
24		完成工事未収入金	完成工事未収入金の科目コードを設定します。	完成工事未収入金_____	可		○	○	○	

初期設定シート〔財務情報登録〕

No.	分類	項目名	説明	設定値（製品出荷時）	変更	備考	フ ロ ク ス ト リ ン グ	N E X T	匠	推奨
25		一般管理費（科目）のコード範囲	〔一般管理費内訳表〕に出力する一般管理費科目を設定します。	役員報酬 _____ から 開発費償却 _____迄	可		○	○	○	
26		兼業事業売上（科目）のコード範囲	〔原価情報〕の原価予想にて兼業事業売上項目を利用する場合、設定します。 兼業事業の売上科目の科目コードを設定します。	(_____) 科目コード から (_____) 科目コード 迄	可	〔部門別利益予想表〕で利用します。	○	○	○	
27		兼業事業原価（科目）のコード範囲	〔原価情報〕の原価予想にて兼業事業原価項目を利用する場合、設定します。 兼業事業の完成原価科目の科目コードを設定します。	(_____) 科目コード から (_____) 科目コード 迄	可	〔部門別利益予想表〕で利用します。	○	○	○	
28		仮払消費税	仮払消費税の科目コードを設定します。	仮払消費税 _____	可		○	○	○	
29		仮受消費税	仮受消費税の科目コードを設定します。	仮受消費税 _____	可		○	○	○	
30		完成工事未払金	〔未払計上〕の相手科目を設定します。	完成工事未収入金 _____	可	〔工事請求査定入力〕で支払区分「未払相殺」でも利用します。	○	○	○	
31		工事損失引当金	工事損失引当金の科目コードを設定します。 〔工事別損益管理表〕の損失引当金として利用します。	_____	可	工事の損失引当金を計上している場合、〔工事別損益管理表〕で確認可能です。	○	○	○	
32		預り金(JV)	〔JV情報〕を利用する場合、設定します。 預り金（JV）の科目コードを設定します。	預り金（JV） _____	可		○	○	○	
33		前期繰越履歴(B/S)	利用しません。							
34		繰越利益剰余金(うち前期繰越分)	〔貸借対照表〕の繰越利益剰余金のうち、前期繰越分を表示する場合は、繰越利益剰余金(うち前期繰越分)の科目コードを設定します。	繰越利益剰余金（うち前繰分） _____	可		○	○	○	
35		前繰利益(P/L)	利用しません。							
36		繰越利益剰余金	〔貸借対照表〕の繰越利益剰余金の科目コードを設定します。	繰越利益剰余金 _____	可		○	○	○	
37		当期利益(P/L)	〔損益計算書〕の当期利益の科目コードを設定します。	当期利益 _____	可		○	○	○	
38		振替諸口	諸口勘定を設定します。	振替諸口勘定 _____	可	〔給与自動振替〕〔賞与自動振替〕で利用します。貸借で発生させる仕訳の部門が異なるため、労務費と未払費用の相手科目に諸口勘定を挟んで、伝票が作成されます。労務費は工事担当部門もしくは所属部門、未払費用は所属部門で伝票が作成されます。	○	○	○	
39		損益勘定	決算振替仕訳で利用する損益勘定の科目コードを設定します。	損益勘定 _____	可	〔決算確定〕で作成する決算振替仕訳で利用します。	○	○	○	
40	その他設定情報									
41		過去伝票変更時の警告メッセージ	「表示する」を設定した場合、前期の伝票を変更するとき、警告メッセージを出力します。	○表示しない ●表示する	可	伝票の締め処理〔伝票変更不可設定〕で代用可能です。伝票の締め処理を実行していない場合、警告する役割りとして利用します。	○	○	○	表示する

No.	分類	項目名	説明	設定値（製品出荷時）	変更	備考	フ ロ ク レ イ ド	N E X T	匠	推奨
42		貸借科目の部門コード未入力メッセージ	〔貸借対照表〕を部門別に出力する場合、「表示する」に設定します。「表示する」の場合、伝票を入力するとき、貸借対照表の科目が入力されている仕訳の部門は必須項目として処理されます。	●表示しない ○表示する	可		○	○	○	表示しない
43		損益科目の部門コード未入力メッセージ	〔損益計算書〕を部門別に出力する場合、「表示する」に設定します。「表示する」の場合、伝票を入力するとき、損益計算書の科目が入力されている仕訳の部門は必須項目として処理されます。	○表示しない ●表示する	可		○	○	○	表示する
44		資金コード未入力のエラーメッセージ	〔資金繰実績表〕を利用する場合、設定します。「表示する」の場合、資金コードの入力画面が表示され、必須項目として処理されます。	●表示しない ○表示する	可		○	○	○	表示しない
45		消費税計上タイミング	税込入力（内税）の仕訳について、消費税仕訳を発生させるタイミングを設定します。「伝票入力時」の場合、伝票入力したタイミングで消費税仕訳を作成させます。「一括計上」の場合、伝票入力したタイミングでは消費税仕訳は作成させず、〔消費税計上〕〔完成振替〕〔進行基準完成振替〕で消費税仕訳を作成させます。月次、四半期、期末のタイミングで内税の仕訳から消費税仕訳を発生させたい場合、「一括計上」を設定します。	●伝票入力時 ○一括計上時	可	外税の仕訳は、本設定に関係なく、仕訳を入力したときに発生させます。〔各自動振替〕の内税の仕訳は、本設定に関係なく、「一括計上時」として処理され、〔消費税計上〕〔完成振替〕〔進行基準完成振替〕で消費税仕訳を作成させます。	○	○	○	伝票入力時
46		工事科目消費税計上方法	消費税計上のタイミング「一括計上」の場合、工事に関する仕訳について、消費税の仕訳を発生させるタイミングを設定します。「発生ベース」の場合、〔消費税計上〕で作成されます。「完成ベース」の場合、〔完成振替〕および〔進行基準完成振替〕で作成されます。	●発生ベース ○完成ベース	可		○	○	○	発生ベース
47		自動振替時の消費税レコード取引先	〔各自動振替〕で作成される消費税仕訳に取引先コードを付けるかどうかを設定します。	○その他取引先 ●本体伝票と同じ	可	〔各伝票入力〕で作成される消費税仕訳の取引先は、画面の取引先です。	○	○	○	本体伝票と同じ
48		決算報告書帳票一式の日付表示	本設定は、ご利用できません。	○西暦 ●和暦	可	未提供機能です。	○	○	○	
49		共通原価按分設定の端数処理区分	按分した金額の端数処理を設定します。	●四捨五入 ○切上げ ○切捨て	可		○	○	○	四捨五入
50		共通原価按分設定の端数調整区分	按分した金額の端数調整を設定します。	●最大金額 ○最小金額	可		○	○	○	最大金額

No.	分類	項目名	説明	設定値（製品出荷時）	変更	備考	フ ロ ク ス ト リ ン	N E X T	匠	推奨
51		伝票入力 部門セキュリティ単位	〔システム運用設定〕の部門セキュリティを「する」に設定している場合の設定です。 「伝票部門・工事担当部門もしくは入力部門」を設定した場合、伝票部門・工事担当部門もしくは入力部門のどちらかに入力権限がある場合に伝票入力が可能になります。 「伝票部門・工事担当部門・入力部門」を設定した場合、伝票部門・工事担当部門・入力部門全てに入力権限がないと、入力不可になります。	●伝票部門・工事担当部門もしくは入力部門 ○伝票部門・工事担当部門・入力部門	可	〔振替伝票入力〕〔支払伝票入力〕〔支払伝票入力（工事）〕で利用します。	○	×	×	伝票部門・工事担当部門もしくは入力部門
52		伝票入力時の使用可能科目	部門別に利用できる勘定科目を制限する場合に設定します。 「制限する」の場合、入力担当者の所属部門毎に設定された勘定科目のみ利用可能になります。 「制限しない」の場合、全ての入力担当者が全ての勘定科目を利用可能になります。	○制限する ●制限しない	可	利用できる科目は、〔科目権限登録〕〔部門別科目権限登録〕で設定します。	○	×	×	制限する
53		費目変更時の科目置換方法	「既入力値優先」の場合、費目コードを変更したとき、科目コードは上書きされません。 「マスタ値優先」の場合、費目コードを変更したとき、〔費目登録〕で登録している科目内訳で上書きされます。	○既入力値優先 ●マスタ値優先	可	費目コードは、初期値として1つの科目（内訳）コードを設定します。費目コードを入力したとき、科目（内訳）コードに自動的に展開します。既に科目（内訳）コードが入力されている場合、本設定で制御されます。	○	○	○	マスタ値優先
54		工種変更時の費目置換方法	工種コードを利用する場合、設定します。 「既入力値優先」の場合、工種コードを変更したとき、費目コードは上書きされません。 「マスタ値優先」の場合、工種コードを変更したとき、〔工種登録〕で登録している費目コードで上書きされます。	○既入力値優先 ●マスタ値優先	可	工種コードは、初期値として1つの費目コードを設定します。工種コードを入力したとき、費目コードに自動的に展開します。既に費目コードが入力されている場合、本設定で制御されます。	○	○	○	マスタ値優先
55		細目変更時の工種・費目置換方法	細目コードを利用する場合、設定します。 「既入力値優先」の場合、細目コードを変更したとき、工種コード、費目コードは上書きされません。 「マスタ値優先」の場合、細目コードを変更したとき、〔細目登録〕で登録している工種コードと費目コードを上書きされます。	○既入力値優先 ●マスタ値優先	可	細目コードは、初期値として1つの工種コードと費目コードを設定します。細目コードを入力したとき、工種コード、費目コードに自動的に展開します。既に工種コード又は費目コードが入力されている場合、本設定で制御されます。	○	○	○	マスタ値優先
56		発注情報展開時の消費税額設定方法	各伝票入力で注文書Noを入力し、注文書の明細を展開する時の消費税額算出方法を設定します。 注文書の消費税額と支払時の消費税額を一致させる場合、「発注消費税額－既払消費税額」を設定します。 毎回の支払金額から消費税を計算させる場合、「支払残高に応じて再計算」を設定します。	●発注消費税額－既払消費税額 ○支払残高に応じて再計算	可	「支払残高に応じて再計算」の場合、端数処理の関係で、注文書の消費税額と支払時の消費税額の合計が一致しなくなる場合があります。	○	○	○	発注消費税額－既払消費税額

No.	分類	項目名	説明	設定値（製品出荷時）	変更	備考	フ ロ ク ス テ ィ ロ	N E X T	匠	推奨
57		預金科目の管理方法	預金科目の残高管理の方法を設定します。 銀行支店を取引先コードで設定し、残高管理する場合、「銀行取引先で管理」を設定します。 勘定科目の内訳コードで銀行支店を表現し、残高管理する場合、「科目内訳で管理」を設定します。	○銀行取引先で管理 ●科目内訳で管理	可		○	○	○	科目内訳で管理
58		進行基準見積原価取得方法	〔進行基準完成振替〕の完成工事高算出時に、進捗率計算の分母の金額の取得方法を設定します。 「進行基準見積原価」の場合、〔受注工事登録〕の進行基準見積原価が分母となります。 「予算情報の予算金額」の場合、〔実行予算登録〕の実行予算合計が分母となります。	●進行基準見積原価 ○予算情報の予算金額	可		○	○	○	進行基準見積原価
59		進行基準工事集約	〔進行基準完成振替〕の完成工事高算出時に、進捗率計算方法を設定します。 「集約しない」の場合、工事コード、工事枝コード毎に進捗率計算します。 「集約する」の場合、〔原価情報登録〕の「工事集約登録」の設定、および〔工事集約登録〕に従い関連工事を集約して進捗率計算します。	●集約しない ○集約する	可		○	○	○	集約しない
60		消費税科目決定方法	消費税仕訳を作成する際、仮払消費税と仮受消費税のどちらの勘定科目を適用するかの判断基準を設定します。 「課税対象区分」の場合、〔科目登録〕の課税対象区分で判断します。課税対象区分が「仕入」の場合は仮払消費税、「売上」の場合は仮受消費税となります。 「消費税区分」の場合、消費税区分が保持する仕入、売上の属性で判断します。	●課税対象区分 ○消費税区分	可		○	○	○	消費税区分
61		完成工事高消費税計上タイミング（進行基準）	〔進行基準完成振替〕の完成工事高に係る消費税の計上タイミングを設定します。 「随時計上」の場合、進行中・完成時間問わず常に消費税を計上します。 「完成時一括計上」の場合、進行中は消費税を計上せず、完成時に一括で消費税を計上します。	●随時計上 ○完成時一括計上	可		○	○	○	随時計上

初期設定シート〔財務情報登録〕

2022/3/24

No.	分類	項目名	説明	設定値（製品出荷時）	変更	備考	フ ロ ク ア イ ロ	N E X T	匠	推奨
62		完成工事高消費税計上タイミング（原価回収基準）	〔原価回収基準完成振替〕の完成工事高に係る消費税の計上タイミングを設定します。 「随時計上」の場合、進行中・完成時間問わず常に消費税を計上します。 「完成時一括計上」の場合、進行中は消費税を計上せず、完成時に一括で消費税を計上します。	○随時計上 ●完成時一括計上	可		○	○	○	完成時一括計上